

国際交流サロン

2月の「世界の家族のごはん」はモンゴルとアメリカです。さあ、世界のことを知って交流を始めましょう。

国名と都市	モンゴル ウランバートル	アメリカ カリフォルニア州
家族構成	両親、子ども10代(女1)、 子ども(男1)	両親、乳児(男1)、幼児(女1)
一週間の食費	約3300円(約41,985トゥグル)	約1万3000円(約159ドル)
好きな食べ物 (特徴)	羊肉を使った餃子、馬の 乳のクリームチーズ、(乳 を加えて攪拌したお茶)	ビーフシチュー、クラム チャウダー、アイスクリー ム、(ベリー・ヨーグルト・ サンデー)

*乳児(2歳未満)、幼児(6歳未満)、子ども(13歳未満)、子ども10代、子ども20代で表記

外国人救命講習会の参加者の募集

被災者支援を行う外国人防災協力者の育成を目的に講習会を実施します。災害が発生した際に、地域住民と共に外国人自身が外国人を含む住民を救助できるように、NPO法人コムニダーニ主催、笠間市国際交流協会協賛、消防署を含む関係機関の協力で開催します。参加費無料。動きやすい服装で参加してください。

問合せ：一般社団法人 笠間市国際交流協会 TEL090-2761-8711 (木村 美枝子)



日本語講座の新入生グループ

3月の国際交流情報

3月17日(日)

外国人救命講習会

午後1時～4時(予定)

会場：笠間消防署3F 多目的ホール

指導者：笠間消防署員

対象：笠間近隣地域在住の外国人の方

☆3月の日本語教室の開講日

3月2日(土)・9日(土)・16日(土)

(笠間公民館 午後1時～)



▲ 稲田駅完成イメージ

東日本大震災の発生からもうすぐ2年が過ぎようとしています。皆様方のご支援により、本市としては笠間支所、教育委員会庁舎の整備をはじめ公共施設の復旧、復興に一定の見通しが立ちました。一方で本市のような地方自治体では少子高齢化、人口減少が大きな課題となっており、今後の社会情勢も踏まえた上で、公共施設の在り方とまちづくりを合わせて考えていく必要があります。今後は3地区の市街地活性化を図り、「復旧から成長へ」とまちづくりを進めていかなければなりません。

また、笠間地区については、稲荷神社門前通りを中心に市街地が形成されており、通りの整備や旧井筒屋の旅館機能を含めた再整備を進めてまいりたいと思います。そして、稲田駅については、駅の改築に合わせて「石の百年館」を移設し、稲田みかげ石の歴史を観光資源として活用していきます。

これらの事業を進めることにより3地区中心市街地の活性化を目指します。同時に、老朽化した市施設等については整理統合を進めます。これらの推進にあたっては、市議会、市民の皆様のご理解ご協力が不可欠です。これからの笠間があるべき姿を市民の皆様と一緒に考えていきたいと思っています。

笠間市長
山口伸樹

駅を中心としたまちづくり

市長コラム